

# 平成 29 年度 川崎市健康安全研究所 理化学検査情報 Vol. 3

## 目 次

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 東扇島東公園人工海浜の二枚貝検査結果（平成 29 年 3 月～ 8 月）<br>（食品担当、残留農薬・放射能担当） . . . . . 1 |
| 2 | 放射性物質検査結果（平成 29 年 8 月）（残留農薬・放射能担当） . . . . . 3                        |

（発行：平成 29 年 10 月 10 日）

# 1 東扇島東公園人工海浜のアサリ検査結果（平成29年3～8月）（食品担当、残留農薬・放射能担当）

## (1) 概要

川崎区の東扇島東公園は平成20年4月にオープンしました。公園内人工海浜「かわさきの浜」には、天然の「アサリ」等の貝類が自生し、シーズン中は多くの方が潮干狩りに訪れています。当所では、この人工海浜における潮干狩り解禁前及び解禁中のアサリについて検査依頼を受け、以下の項目が規制値又は基準値を超えていないかどうか検査しています。

### ア 麻痺性貝毒、下痢性貝毒

### イ 放射性物質

<参考リンク> 川崎市健康安全研究所ホームページ「自然毒検査」

<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000053210.html>

川崎市健康安全研究所ホームページ「放射性物質検査」

<http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000051431.html>

川崎市：東扇島東公園ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/580/page/0000001282.html>

## (2) 関連法令等

食品衛生法

## (3) 検査依頼元

川崎市港湾局(貝毒)、川崎市保健所(放射性物質)

## (4) 検査結果

次の表のとおりです。今シーズンは麻痺性貝毒、下痢性貝毒の規制値及び放射性物質の基準値を超える結果はありませんでした。

表1 二枚貝検査結果(平成29年3月～8月)

採取日	麻痺性貝毒	下痢性貝毒	放射性物質	
			セシウム134	セシウム137
H29.3.14	1.8 MU/g未満	不検出	不検出 (1.9 Bq/kg未満)	不検出 (2.1 Bq/kg未満)
H29.4.26	1.8 MU/g未満	不検出	未実施	未実施
H29.6.7	1.8 MU/g未満	不検出	未実施	未実施
H29.7.11	1.8 MU/g未満	不検出	未実施	未実施
H29.8.8	1.8 MU/g未満	不検出	未実施	未実施
規制値(貝毒)または 基準値(放射性物質)	4 MU/gを超えない	0.16 mgオカダ酸当量/kg	100 Bq/kg未満	100 Bq/kg未満

## (5) 用語説明

### ア 麻痺性貝毒

ホタテガイやムラサキイガイ等の二枚貝の餌であるプランクトンの一種が毒成分を産生し、その毒を体内に蓄積して毒化した二枚貝を人が食べることによって中毒症状が起こります。甲殻類や巻貝においても、毒化して中毒症状が起こることもあります。毒成分はサキシトキシン、ネオサキシトキシン及びゴニオトキシン群など多数の同族体が存在します。中毒症状は食後 30 分程度で軽度の麻痺がはじまり、重症の場合は死亡することがあります。

<参考リンク> 厚生労働省ホームページ「自然毒のリスクプロファイル:二枚貝:麻痺性貝毒」

[http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/animal\\_09.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/animal_09.html)

### イ 下痢性貝毒

麻痺性貝毒と同様に二枚貝等の餌であるプランクトンの一種が毒成分を産生し、その毒を体内に蓄積して毒化した二枚貝等を人が食べることによって中毒症状が起こります。毒成分はオカダ酸とその同族体のジノフィシトキシン群です。おもな中毒症状は消化器系の障害で、下痢、吐気、嘔吐、腹痛等が食後 30 分から 4 時間以内の短時間で起こります。回復は早く通常は 3 日以内に回復し、後遺症はありません。

<参考リンク> 厚生労働省ホームページ「自然毒のリスクプロファイル:二枚貝:下痢性貝毒」

[http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/animal\\_10.html](http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/poison/animal_10.html)

## 2 放射性物質検査結果（平成 29 年 8 月）（残留農薬・放射能担当）

平成 29 年 8 月の放射性物質検査結果において、放射性セシウムが検出されたものではありませんでした。

なお、放射性セシウムのみを測定する理由は参考リンク1を参照してください。

<参考リンク> 1 厚生労働省ホームページ「放射性物質の対策と現状について(概要)」 [http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/dl/20131025-1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/dl/20131025-1.pdf)

2 川崎市健康安全研究所ホームページ「放射性物質検査について」 <http://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000051431.html>

3 厚生労働省ホームページ「食品中の放射性物質への対応」 [http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

表2 放射性物質検査結果（平成29年8月）

カテゴリ	品目	基準値区分	基準値 (Bq/kg)	検査結果(検出限界):Bq/kg		判定	備考
				セシウム134	セシウム137		
学校給食等に 用いられる食材	かんぴょう	一般食品	100	不検出(2.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.7 Bq/kg 未満)	基準値未満	栃木県(原材料産地)
	ハンバーグ	一般食品	100	不検出(1.1 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)	基準値未満	北海道、宮城県、千葉県 他(原材料産地)
	わかめ	一般食品	100	不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.4 Bq/kg 未満)	基準値未満	岩手県、宮城県(産地)
	大豆	一般食品	100	不検出(1.2 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)	基準値未満	北海道、宮城県(原材料産地)
	味噌	一般食品	100	不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.1 Bq/kg 未満)	基準値未満	秋田県(原材料産地)
市内産農産物	さつまいも	一般食品	100	不検出(1.5 Bq/kg 未満)	不検出(1.3 Bq/kg 未満)	基準値未満	麻生区(産地)
	さつまいも	一般食品	100	不検出(1.5 Bq/kg 未満)	不検出(1.4 Bq/kg 未満)	基準値未満	麻生区(産地)
	ぶどう	一般食品	100	不検出(1.4 Bq/kg 未満)	不検出(1.2 Bq/kg 未満)	基準値未満	多摩区(産地)
	らっかせい	一般食品	100	不検出(1.2 Bq/kg 未満)	不検出(1.3 Bq/kg 未満)	基準値未満	麻生区(産地)
	日本なし	一般食品	100	不検出(1.3 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	基準値未満	多摩区(産地)
市内流通食品	精米	一般食品	100	不検出(1.5 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	基準値未満	福島県(産地)
水道水	水道原水	飲料水	10	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	基準値未満	神奈川県(水源地)
	水道水	飲料水	10	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	不検出(1.0 Bq/kg 未満)	基準値未満	神奈川県(水源地)